

2020年度 ふるさと料理教室実施報告

本渡分会亀場地区

<目的>

■地域の子供が、食べ物を選択する力・料理をする力を身につけるための活動に取り組む

- ①天草の郷土料理を知り、強度を愛する心情を育てる。
- ②食生活についての知識を広げ、自分たちの食生活を見つめる機会とする。
- ③地域の方々との交流を図り、コミュニケーション能力を育む。

<対象者>

亀場小学校4年生

<参加者>

10月27日(火) 児童41名+先生2名+地域連絡員1名+食改12名 合計56名
10月28日(水) 児童41名+先生2名+地域連絡員1名+食改12名 合計56名

<日時>

2020年10月27日(火) 4年1組・ひまわり2組 9:15~12:45
2020年10月28日(水) 4年2組・ひまわり4組 9:05~12:35

<場所>

亀場町コミュニティセンター 講堂・調理室

<献立>

さつま芋ご飯・押し包丁・オレンジヨーグルト

<公民館到着からのタイムスケジュール>

	10月27日(火) 1組	10月28日(水) 2組
はじめの式	9:15~	9:05~
調理実習	9:35~	9:25~
食事・質疑応答	10:55~	10:45~
後片付け	11:35~	11:35~
食についてのお話	12:05~	11:55~
終わりの式	12:35~	12:25~
後片付け	12:45~ (翌日の準備)	12:35~

◆食についての講話：郷土料理を知り、食育学習につなげよう！

◆2日目は、食事後児童の質問に食改推進員が答える時間を20分程度設けられた。

<目標達成度>

- ・子どもたちが意欲的に郷土料理作りに取り組み。楽しんで活動することができた。
- ・子どもたちが野菜の切り方等にとっても興味を持ち、活動していた。

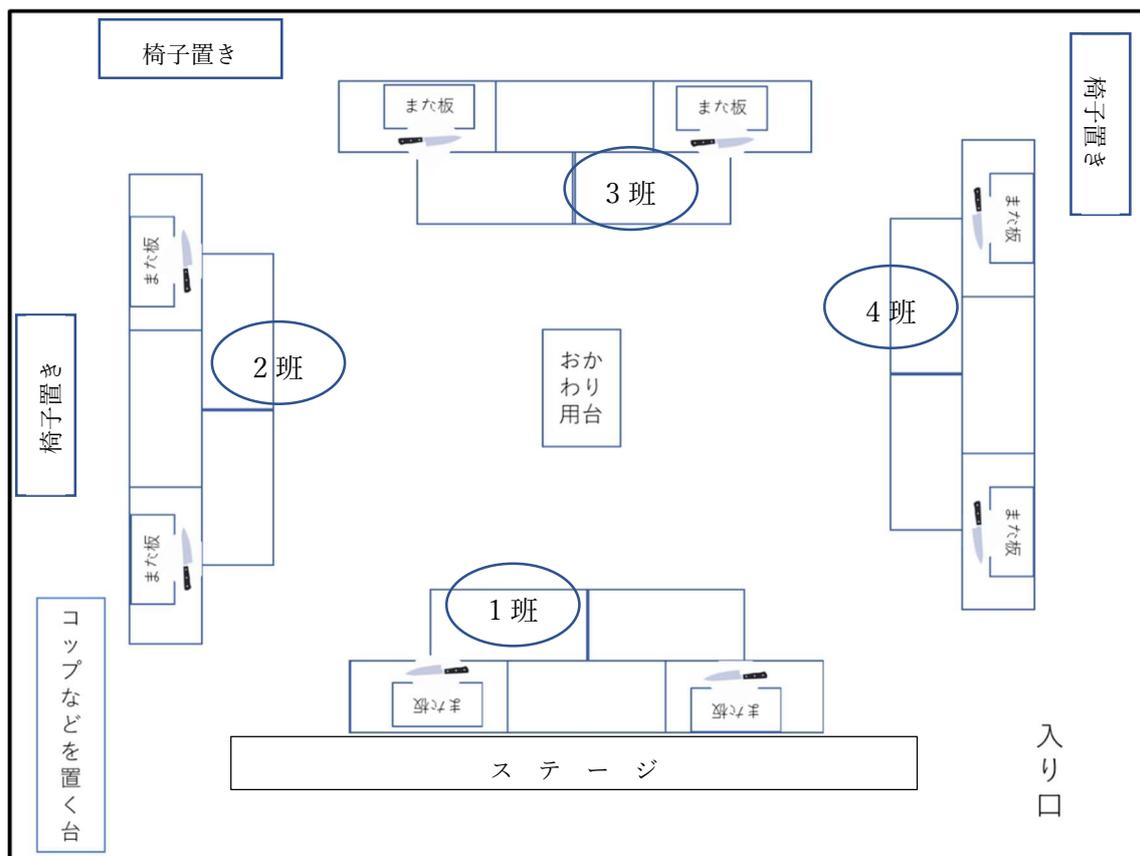
<反省点>

- ・コロナ過、会場の都合で日程が昨年より早くなった。そのためさつま芋生育が十分ではなかった。時期的には11月上旬～11月中旬の実施が適していると思われる。
- ・ささがきごぼうにするごぼうが短すぎたため児童は切りにくかったように思うので、次回以降はもう少し長くして実習させることがいいかと思われる。

<その他>

○講堂配置図（亀場町コミュニティセンターの場合）

テーブル5脚×3カ所（洋室から持ってくる、残り5脚はステージ下から出す）



料理実習風景

<11月27日の実習風景>



<11月28日の実習風景>

